

3年保護者対象進路講演会のアンケートQ & A（進路指導係からの回答）

Q. 湘南学院自体の大学入試状況や進め方や指導について知りたかった

A. 進路指導につきましては、担任・進路指導係が中心となり生徒面談や三者面談から志望確認や今後の動き方を指導しています。進路指導室も昼休みと放課後に開放しており、いつでも情報を得たり、相談したりできるようになっています。もちろん、担任との面談も随時行うことが可能です。また直接的な指導として、総合型や学校推薦型選抜であれば、志望理由書の添削指導、面接練習を何度も行い、試験に向けて準備をさせています。一般選抜に向けた指導としては、模擬試験を推奨しており、そのデータを基に生徒の志望に対する指導などを行っています。一般選抜では、最後の最後まで学力が変化するため、3年生12月・1月での進路指導の比重が大きくなっていきます。

Q. 新情報を学校側が適切に入手していただき、生徒への迅速な情報提供をお願いします

A. 文科省が発表している変化に関しては、常にアンテナを張っている状況です。特に共通テストに関する件は、今後も説明会を実施するなど生徒へ情報提供する予定です。各大学の情報ですが、現在多くの大学が実施している説明会に参加して情報をまとめており、その情報は担任と共有し、必要な生徒へ指導ができるようしています。ただし大学の数はとても多く、全ての情報を完全に網羅できているわけではありません。生徒とともに、受験の際は確認をしながら進めてまいります。

Q. 進路相談や指導などのやり方、どのような場があるのか全く分からない

A. 進路相談については、まず担任と相談することがスタートであると思いますので、担任の先生と話を進めることになります。進路指導室では5名の教員がいますので、昼休みの時間帯や放課後を利用し相談に乗ることが可能です。生徒の受験区分が総合型や学校推薦型であれば、担任・進路指導係・その他教員による志望理由書の指導、面接指導を実施しています。一般選抜に向けては、共通テスト説明会や出願指導研究会を9月以降に実施し、全体指導を行います。細かな出願に関しては、各々状況が異なるため、担任を中心に12月・1月に出席指導を行っております。担任から声を掛けられるのを待つのではなく、生徒自身が主体的に動くようにご伝達願います。

Q. 学校選びなど面談とは別に担任の先生に相談に乗ってもらうことはいつでもできるのでしょうか

A. 日程によって会議や出張などがありますが、担任が空いている時間であれば、相談に乗ることや、志望理由書の指導、面接指導は勿論行います。担任だけでなく、進路指導室にも教員はいますので、ここでも相談や指導を受けることが可能です。事前に予約することをおすすめします。

Q. 大学受験向けの学習指導はされますか

A. コースや科目によって差異はあると思いますが、必要な指導はしています。私立大学の3科受験においては必要な科目（文系：英語・国語・地歴公民 理系：英語・数学・理科）の大学入試問題を扱いますが、受験に必要な科目は重きを置きすぎないようにコース・科目によって指導が異なるのが現状です。

Q. 今から頑張って大学に行けるのか不安です

A. 基礎学力の面では生徒の努力は必要となりますが、学習での不明点は随時各教科担当者が質問を受けます。また、総合型や学校推薦型に関しては、担任・進路担当でのサポートを行いますので、積極的に動いていただければと思います。

Q. 指定校の枠は子どもに聞かないとわかりませんか。8月と言われていましたが、7月も過ぎているため、一覧で知りたいです

A. 昨年のものであれば生徒が持っている Career Navi に掲載されています。今年度のは、現在も毎日更新している状況であるため、今年度の情報開示は8月とさせていただきます。

Q. 指定校の情報開示は生徒全員でしょうか

A. 指定校推薦の情報開示は、基本は希望者のみとなります。後日、HRで希望調査を行いますので、そこで必要な生徒は一覧表を配布いたします。希望しなくても、進路指導室には用意をしていますので情報開示日以降に閲覧することは可能です。

Q. どの受験方法にするか決めかねていますが、いつごろまでに決めればいいですか

A. 一般選抜に関しては、必ず受けるものと考え受験勉強を行い、出願する先の最終指導は12月や1月となります。共通テストに関しては9月4日に説明会を開き出願案内を配布いたしますので、その日程までに希望するであろう大学の受験科目を調べておく必要があります。3年間の評定が基準となる学校推薦型選抜の出願については8月上旬に3年生の前期評定が出るため、まずはそこで検討するタイミングになります。総合型選抜の出願についても同様に希望を考えるタイミングとしては8月上旬から中旬です。

Q. 共通テストの日程が2つになっていることは決定ですか

A. 共通テストの日程は正式に決定しています。これまでのセンター試験と同じ時期である1月16・17日と、学業の遅れを考慮した1月30・31日の日程となります。また、当日インフルエンザなどで欠席した受験者への対応として、1月16・17日の追試は1月30・31日、1月30・31日の追試は2月13・14日となります。会でもお伝えしましたが1月30・31日の日程は私立大学の個別入試に接近していることと、もし追試となった際は2月13・14日が私立大学入試の真っ只中となるため、積極的な利用は控えた方が良くと考えています。(実際の選択においては、各々受験生の状況になるため、最初の日程・後の日程の有利不利は学校として決めることができません)

Q. 共通テスト以外の日程が不明確であり志望大学の選択が難しい状況ですが、どのように志望校を決定すればよいか

A. 7月31日までに全大学の試験日程は公表されるため、日程の部分に関しては8月からになります。現時点での志望大学が最終受験大学になるとは限らないため、目標として第1志望を決めておきますが、最終志望校の決定は12月や1月になります。特に国公立大学に関しては、共通テストの自己採点の結果から出願先を変更するため、1月末頃の指導となります。

学校からの見解

●中間試験後、午前授業なのはなぜですか

午前中の授業にした理由はまさに「３年生の進学指導時間の確保」のためです。本来であれば７月中に保護者会を実施し進路指導を行っていますが、休校期間・分散時差登校があり、成績が出てからの３年生保護者会を実施するタイミングは８月となりました。各クラス担任との進路に向けた三者面談の時間を確保することが１つの理由です。また、例年８月中は大学短大の総合型選抜の出願に向けた志望理由書の指導ならびに専門学校のアオ入試・推薦入試の出願指導や面接指導の時期です。志望理由書や面接指導を行う時間の確保という点が２つ目の理由となります。

もう１つの観点は「熱中症・食中毒・新型コロナウイルス」の安全対策です。新型コロナウイルスの感染対策として教室の換気が必要となり、各教室は冷房設備がついていますが窓や扉を開けています。そのため、特に７月末から８月の暑い時期には、室温が上がり、熱中症やお弁当の傷みも懸念されます。午後には部活動や一部補習授業も予定されていますが、部活動は部活動マニュアルに従って安全対策を施し、補習については少人数に限ることで許可しています。

●コロナ禍で授業が減っているのにオンライン授業は導入しないのか

今後のことを考えて、順次準備中です。なおスタディサブリを全生徒へ導入していますので大いに個々に必要な授業動画を活用して学力伸長にも役立てて頂きたいと思います。